



## (第 24 回) CReATE Seminar

### Society5.0 研修会 (第 14 回)

「自らの捉えからインクルージョンを考える」を開催しました！

開催日時：2022 年 11 月 30 日(水)13 時 10 分～14 時 40 分

実施方法：オンライン (zoom)

講 師：野口 晃菜 氏 (株式会社 LITALICO・教育ソフトアドバイザー、  
一般社団法人 UNIVA・理事)

主 催：先端教職課程カリキュラム開発センター

2022 年 11 月 30 日(水)13 時 10 分から、「自らの捉えからインクルージョンを考える」を開催しました。令和 3 年度から開催している CReATE Seminar (クリエイトセミナー) としては通算 24 回目、Society5.0 研修会としては通算 14 回目となります。

本学では、教員養成フラッグシップ大学の特例措置科目として、学部や教職大学院にインクルーシブ教育に関する科目を開発しており、学部段階では、当事者や関係者との対話を通して、学生がインクルージョン及びインクルーシブ教育を「考える」授業づくりを行っています。

今回のセミナーは、インクルーシブ教育、多様性のあり方について探究する態度や姿勢を養うことを主要な目的とした「インクルーシブ教育基礎論」の授業の 1 コマとして試行実施しました。

当日は、小川修史准教授の司会・進行のもと、科目開発に積極的に参画いただき、兵庫教育大学教員養成フラッグシップ大学コンソーシアムにもご参加いただい

ている野口 晃菜氏に「インクルージョン」「多様性」「アンコンシャス・バイアス」「マイクロアグレッション」をキーワードにお話いただき、当日は、申し込みをした学生及び教職員 41 名が参加しました。

社会はマジョリティの人たちに偏ったつくり、つまり障害のある人がいることを前提としたつくりになっていないことを身近な事象から改めて確認することで、障害は社会とのかかわりの中で生じていることを痛感することができました。さらに、無自覚な自分の言動を様々な具体例を通して確認することができ、様々なバイアスにさらされている現状を改めて認識することもできました。性や家族などに対する自身の捉えをまずは自覚していくことが、社会を変える原動力になると教えていただきました。セミナーはオンラインで実施され、コメントスクリーンが活用されました。講義中は、適宜、質問が投げかけられ、学生は積極的に意見を表明していました。